

三陸沿岸道路 田老岩泉道路

「(仮)新小本大橋締結式」のお知らせ
～田老岩泉道路で最長の橋梁が繋がります～

三陸沿岸道路を構成する「田老岩泉道路」(岩手県宮古市田老字小堀内～下閉伊郡岩泉町小本、延長約6km、平成29年度開通予定)のうち、小本川及び三陸鉄道北リアス線を渡る新小本大橋(延長362m)の上部工が繋がることを記念しまして、地域の代表者並びに岩泉町関係者等による「締結式」を行いますので、お知らせします。

1. 日時：平成29年1月18日(水) 13:30～15:00
2. 場所：岩手県下閉伊郡岩泉町中島字長内地内 … 別紙案内図を参照
3. 主催：国道45号新小本大橋上部工工事(株式会社東京鐵骨橋梁)
4. 内容：①発注者挨拶(三陸国道事務所長)
②来賓挨拶(岩泉町長)
③最終ボルト締結
(地域代表者、子ども園関係者、岩泉町、発注者、施工者など)
④施工者挨拶(株式会社東京鐵骨橋梁)
5. その他：現場入場する際に必要となるヘルメットは、こちらで用意致します。
当日取材を希望される方は、事前にご連絡をお願いします。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会各社》

問い合わせ先

【式典・施工内容に関すること】

株式会社東京鐵骨橋梁 新小本大橋作業所 電話 0194-32-3480

作業所長 しょうがき けんや 正垣 憲也

【事業に関すること】

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 電話 0193-62-1711(代表)

副所長 ひらおか ひろし 平岡 弘志

建設監督官 さのみね つとむ 佐野峯 勉

至
宮古市

至
久慈市

(仮)新小本大橋

小本川 →

三陸鉄道北リアス線

(町)小本卒郡線



田老岩泉道路（田老～岩泉） L = 6 km

路線概要

三陸沿岸道路「田老岩泉道路(田老～岩泉)」は、宮古市田老から岩泉町小本を結ぶ約6kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

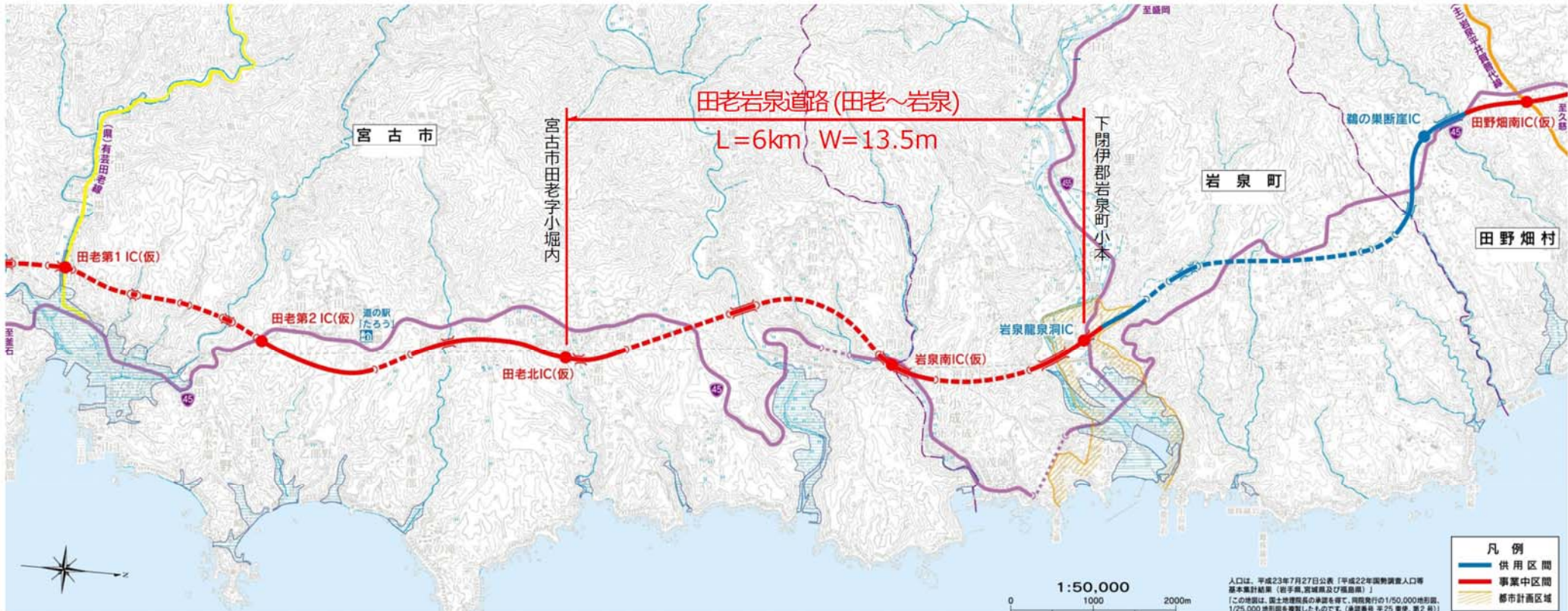
平成28年度は、用地買収、改良工事、トンネル工事、橋梁工事、舗装工事、道路付属物工事を促進し、平成29年度の開通を目指します。

計画諸元

	田老岩泉道路(田老～岩泉)
起 点	宮古市田老字小堀内
終 点	下閉伊郡岩泉町小本
延 長	6 km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



田老北IC(仮)付近(北側を望む)



津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止が発生
- 田老岩泉道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼ 宮古市～岩泉町間経路



▼ 津波により寸断された国道

写真① 宮古市田老地区



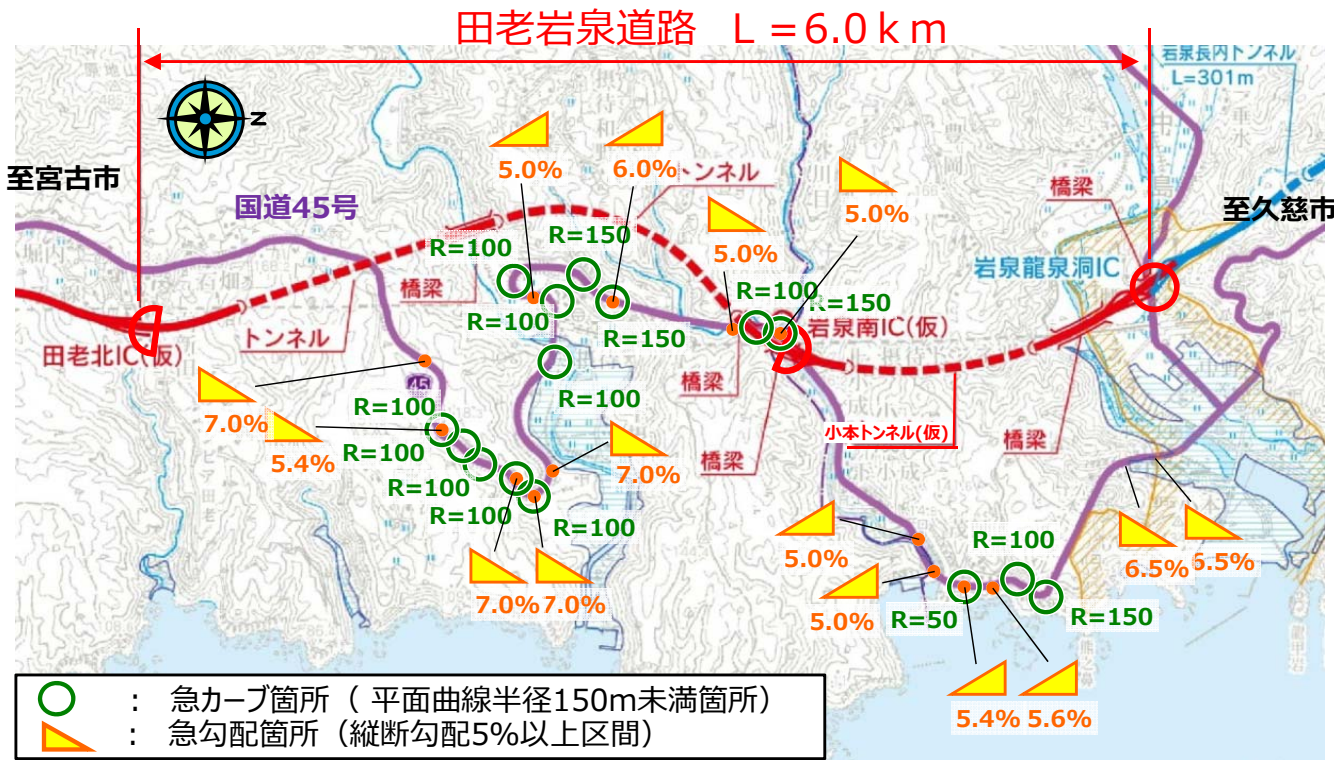
写真② 岩泉町小本地区



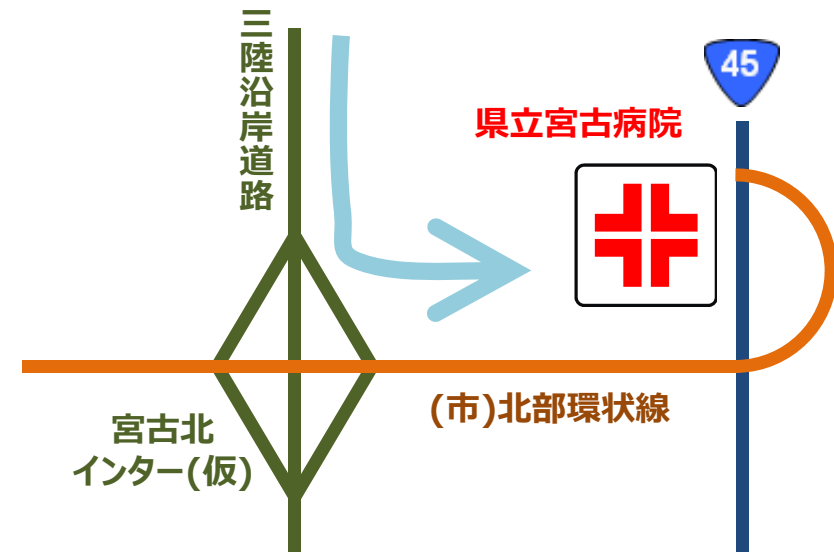
迅速で安定した救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古保健医療圏(宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町)の第二次救急医療施設は県立宮古病院のみだが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 田老岩泉道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼現道の隘路状況



▼宮古病院へのアクセスルート



田老～岩泉区間の国道45号

急カーブ箇所
(R < 150m)
15箇所



急勾配箇所
(i > 5%)
15箇所



田老岩泉道路

急カーブ箇所 (R < 150m)
急勾配箇所 (i > 5%)
0箇所

岩泉町から県立宮古病院への搬送時間

現在 約50分 ⇒ 将来 約35分

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
(八幡平市入込客数
: 201万人/年)



遠野盆地
(遠野市入込客数
: 162万人/年)



展勝地
(北上市入込客数
: 125万人/年)

世界遺産 平泉
(平泉町入込客数200万人/年)

中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



船越半島大釜崎(山田町)



基石海岸(大船渡市)



三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



北山崎(田野畑村)



龍泉洞(岩泉町)

